

スズメバチへの対応について

国立赤城青少年交流の家

ハチに刺されないために

前年の秋に誕生し越冬した女王蜂は、4月から6月にかけて単独で巣づくりをはじめます。この時期は比較的巣の除去も容易に行うことができますが、6月から7月にかけて働き蜂の羽化が本格化すると、女王蜂は産卵に専念するようになるため、巣は急速に大きくなります。

以下の点に気をつけて行動しましょう。

(1) 攻撃を受けやすい色彩を身に付けない。

スズメバチはいずれの種も**黒色**に対して激しく攻撃します。黒い着衣、ひらひらするものは避け、帽子をかぶり軍手などをはめて露出部分を少なくしましょう。



ヘアスプレーや香水などにも敏感に反応します。活動前には**においの強いもの**をつけないようにしましょう。

(2) 攻撃を受けやすい動きをしない。

スズメバチは横への動きに反応しやすいので、**ハチを手で払ったり急に向きを変えるなどの動きは危険**です。もし巣を見つけた場合は、静かに後ずさりして巣からすぐに離れるようにしましょう。



室内にハチが入ってきた場合は、窓をあけて出て行くのを待ちます。

ハチは明るい方へ向かう性質があり、そっとしておけば自然に外に出て行きます。

たたいたり追いかけて回したりするのは危険です。絶対にやめましょう。

もし刺されてしまったら

- ・巣の近くで刺されたら、速やかに巣から離れてください。ハチの撒き散らす警報フェロモンに呼び寄せられて多数のハチが攻撃してくることがあり危険です。
- ・傷口を水道水でよく洗い流し、手で毒液を絞り出すようにします。**口で吸い出すのは大変危険**です。絶対にやめましょう。
- ・刺された部分を氷で冷やしておき、腫れや炎症をおさえます。
- ・以上の処置を施したあと、できるだけ速やかに医師の診察を受けることをおすすめします。
- ・症状は個人差が大きく、刺されて数分でショック症状を起こすこともあります。少しでも変わった症状（喉がつまったような感じや胸苦しき、口の渇き、めまい、頭痛など）が見られたら、速やかに医師の診察を受けてください。